

(ア) 結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、切れ目のない支援を実施

① 結婚を希望する男女の出会いの創出

● 若い世代の結婚の希望をかなえるため、出会いの場をつくるだけでなく、出会いの場に参加する前からの支援を行います。また、本市で結婚、出産、子育てすることのメリットを広く啓発します。

重要業績評価指標(KPI): 出会いの場関連事業への参加者数の増加

(具体的な取組) ・出会いの場づくりなどの実施  
・結婚の魅力を発信

② 安心して妊娠・出産ができる支援体制の強化

● 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うことで、誰もが安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりを進めます。

重要業績評価指標(KPI): 子育て世代包括支援センターを各区1箇所以上に設置  
妊娠11週までの妊娠届率: 現状より向上  
生後4か月までの育児状況把握率100%維持

(具体的な取組) ・不妊に悩む方への支援  
・妊娠・出産・産後の切れ目のない支援

③ 子育て支援のより一層の充実

● 新潟らしい地域力・市民力を活かし、すべての子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます。

重要業績評価指標(KPI): 保育所待機児童数: 0人(H27.4.1現在: 0人)  
放課後児童健全育成事業を利用する児童数: 10,831人  
コミュニティ協議会で放課後児童クラブ運営数: 拡大

(具体的な取組) ・多様な保育サービスの充実  
・放課後対策の総合的な推進  
・地域特性を活かした子育て支援の充実

④ 結婚・出産・子育てなどライフデザインを考える機会の提供

● それぞれの適した年齢に結婚・出産・子育てなどのライフイベントを考えることができるように、妊娠・出産についての正しい知識を提供します。

重要業績評価指標(KPI): ・妊娠・出産の正しい知識の認知度の向上

(具体的な取組) ・妊娠・出産の正しい知識を啓発

## (イ) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進(働き方の改革)

- ① 若い世代の結婚や出産の希望をかなえる雇用労働環境の向上
- ② 子育てや地域活動等への参画を容易にする働き方の推進

● 男女がともに健康で充実した生活をおくるために、企業と連携し、意識の啓発を進める環境づくりを進めるとともに、仕事と家庭生活や地域活動などのバランスをとりながら、個人の状況に応じて多様な生き方を選択できる環境づくりを進めます。

重要業績評価指標(KPI): 年次有給休暇取得率:現状より増加  
(37.4%(H26年度))  
所定外労働時間数:現状より減少  
(9.1時間/月(H26年度))

(具体的な取組) ・経済界へワーク・ライフ・バランス推進を要請  
・企業のワーク・ライフ・バランス推進を支援

- ③ 女性が望む多様な働き方の支援

● 女性が意欲や能力を十分に発揮し、自身の望む働き方をして仕事や生活の上で自己実現を果たすために、女性の多様な働き方を支援します。

重要業績評価指標(KPI): 育児をしている女性の有業率:現状より増加  
(59.1%(H24年度))

(具体的な取組) ・女性の活躍促進を啓発  
・女性の再就職支援  
・女性の多様な生き方・働き方を紹介・支援

- ④ 男性の家事・育児を促進

● 男性が積極的に家事・育児に関わることにより、これまで過度に依存してきた女性の負担を軽減するとともに、働き方の見直しにつなげ、一人ひとりのライフステージに応じて多様な働き方を選択し、仕事と生活の調和を実現していくことができるように意識啓発と支援を進めます。

重要業績評価指標(KPI): 男性の育児休業取得率:5%  
家事・育児・介護などへの従事時間の男女差:現状より減少  
(平日3時間31分、休日3時間29分(H26年度))

(具体的な取組) ・男性の育児休業取得を啓発  
・男性の育児休業取得を支援

## (ウ)新潟らしい教育の推進

### ① 新潟の良さを伝え、新潟への愛着を育む教育の推進

● 職業や将来の生き方について考えるキャリア教育の推進とともに、子どもたちが本市の誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの誇りや生きる力を育むため、食育や地域の文化・環境を学ぶための体験活動を推進します。加えて、中学・高校生へ地元で進学、就職、生活することのメリットを数値を用いて示し、地元で暮らすことも選択肢のひとつとして加えてもらえるよう、意識の変革を図ります。

重要業績評価指標(KPI): 新潟のよさを伝え、愛着を育む活動をした学校の割合:100%  
「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している学校の割合:100%

- (具体的な取組)
- ・新潟を知る・体験する教育の推進
  - ・食育・農業体験の推進
  - ・中学・高校生へ新潟暮らしの良さをアピール

### ② 新潟で子どもを育てたいと思える教育環境の整備

● 本市で子どもに教育を受けさせたいと思えるように、子育て世代へのさらなる支援を推進するとともに、子どもの成長や学びを地域全体で支えていける、本市の特長を活かした教育環境を整備します。

重要業績評価指標(KPI): 新潟市は子育てしやすい街と思う保護者の割合:60%  
1校あたりの学校支援ボランティア延べ人数:H26 1,210名 H31 1,360名

- (具体的な取組)
- ・学社民の融合による教育の推進
  - ・新潟らしい教育行政体制の創造
  - ・豊かな心と健やかな身体の育成
  - ・教育の機会均等に向けた支援体制整備
  - ・家庭教育の充実と子育て支援

## (エ) 地元の大学等への進学、地元企業への就職の促進

### ① 大学の魅力向上への取り組みを支援

●産学官の連携の推進とキャリア形成に向けた大学や専門学校の新規・拡充を支援し、進学のタイミングにおいて積極的に地元を選んでもらえるよう取り組みます。

重要業績評価指標(KPI): 地元大学等への進学者の割合: ●●%

- (具体的な取組)
- ・大学, 学部設置等への支援
  - ・魅力的な教育プログラム(COC+等)推進への支援
  - ・特色ある研究や大学広報への支援

### ② 地元大学等への進学しやすい環境整備

●本市に所在する大学等に進学する場合に金銭的な負担等を軽くすることで、進学先に本市地域を選択してもらう動機づけをおこないます。

重要業績評価指標(KPI): 地元大学等への進学者の割合: ●●%

- (具体的な取組)
- ・地元進学者に対する奨学金貸付の充実
  - ・地元大学等への入学時負担軽減

### ③ 地元企業への就職の促進

●若者が働き始める際に新潟で働くことを積極的に選び、社会的に自立し、自信をもって夢や目標に向かって動き出せるよう支援します。

重要業績評価指標(KPI): 県内地域大学における県内就職率: 10%増

- (具体的な取組)
- ・新規学卒者に対する本市圏域内への就労支援
  - ・首都圏等新規学卒者のU・Iターン支援